

3月19日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として一般財団法人移行前の専教振第74回評議員会・第107回理事会を開催した。

評議員会は委任状を含めた出席者20名を得て午前11時から、理事会は委任状を含めた出席者20名を得て午後2時から開会。福田益和理事長から開会のあいさつが述べられた後、評議員会では長川泰次郎評議員を議長に、齋木寛治評議員と氏原憲二評議員を議事録署名人に選出。また理事会では福田理事長が議長に就任。議事録署名人に橋本榮一理事と多忠和理事を選出し審議に入った。

評議員会・理事会ともに、はじめに【第1号議案 平成23年度第1次補正予算】に関して、坪内孝満財務担当常務理事が配布資料をもとに、震災義援金の拠出を主因とする第1次補正予算の概要を説明。特に異議なく、全会一致で原案どおり拍手承認。

【第2号議案 平成24年度事業計画】に関しては、配布資料をもとに事務局が教員研修・研究、認定・表彰、検定、保険、出版等、各事業の計画内容を説明。

【第3号議案 平成24年度収支予算】に関しては、配布資料をもとに坪内財務担当常務理事が概要を説明した後、事務局が、実施事業等会計、その他会計、法人会計の各科目の予算額について説明。両議案について一括審議が行われ、特に異議なく、全会一致で原案どおり拍手承認。

【第4号議案 公益法人改革への対応】に関しては、配布資料をもとに事務局が移行申請手続きの現状と今後の予定、一般財団法人設立登記時の諸規程について説明。特に異議なく、全会一致で原案どおり拍手承認。

以上により、議長が全ての議案の審議、承認を確認し議事を終了した。